

# 能・狂言と近江

中世、鎌倉後期から室町初期にかけて、近江では、近江猿楽が大いに人気を博し、日吉・多賀大社を中心に上三座・下三座を組織して祭礼に参勤していたことが知られています。特に近江猿楽の幽玄の芸風は、観阿弥・世阿弥による能楽(能・狂言)の大成にも大きな影響を与えたと言われています。

**2025年12月5日(金) 10時30分～12時**

**講師** いかいゆり子さん(近江の文学研究家)

**内容**

- ・能、猿楽(近江猿楽 大和猿楽)とは
- ・近江が舞台の主な能・狂言についての紹介
- ・能を鑑賞するときの留意点など

**会場** 草津コミュニティ支援センター

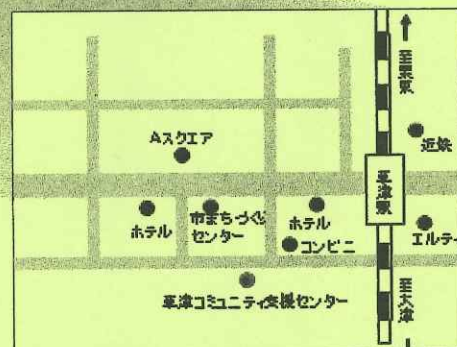
**参加費** 500円

**定員** 30名(定員になり次第締切)

※駐車場はありません



滋賀県生まれ。湖南市在住。  
近江の文学研究家として『近江のかくれ里』、『近江の小倉百人一首』、『改訂版近江の芭蕉』等(ともにサンライズ出版)を上梓。現在も幅広く古典文学の講師等を務めるかたわら、湖国滋賀県の魅力を広く紹介する活動などに取り組む。



**問合せ・申込**

草津コミュニティ支援センター運営会 草津市西大路町10-12

TEL/FAX: 077-563-0932 ☎ 平日10:00～15:00

mail: npo@932csc.com

